








よりよい協議にするための方法 8 選

<p>1 ファシリテーターをおこう!</p>  <p>協議を行う際に進行役を決めると、効率的・効果的に進行できます。 詳細は下の2次元コードへ。</p>	<p>2 事前の準備をしよう!</p>  <p>ファシリテーターは事前にその協議の目的や目標、用意する道具、進行の予定などを決めましょう。</p>
<p>3 意見をたくさん出せるようにしましょう!</p>  <p>発散思考で気が付いたことをどんどん付箋に書き出しましょう。参加できない人には、予め書いてもらいましょう。</p>	<p>4 発言しやすい雰囲気を作ろう!</p>  <p>緊張をほぐすためのアイスブレイクを行う、座席を工夫する、テーブルにお菓子を用意するなどの方法があります。</p>
<p>5 時間通りに終わらせよう!</p>  <p>協議の始めに終了時刻を全体で確認するとともに時計を見える位置におく、進行表を配付するなど効果的です。</p>	<p>6 目的に合わせた協議をしよう!</p>  <p>協議の中で目的に合わない話題になってしまったら、パーキングエリア(PA)に話題を書き留め、本筋に戻しましょう。</p>
<p>7 話し合いの流れを整理しよう!</p>  <p>付箋を活用したり、その都度ホワイトボードや模造紙に書いたりして視覚化しましょう。</p>	<p>8 会議で決まったことを確実に実行しよう!</p> <p>いつまで(When) 誰が(Who) 何を(What) どのように(How)</p> <p>協議で出た案を実行に移すために、「いつまで」「誰が」「何を」「どのように」やるのかを明らかにします。</p>

もっと詳しく知りたい

上記の内容やファシリテーターについての詳細は総合教育センターホームページに掲載しています。
(右の2次元コードから)ぜひご覧ください。
また、自己研鑽のための研修講座において、ファシリテーターに関わる研修講座を予定しています。



③

効果的な協議の実践事例

【R・P】生徒の現状を全教職員で共有

「学校の方向性を考える会」を実施し、生徒の実態について認識を共有する。



<協議参加者の声>
(全教職員が)同じ方向を向いていく一歩になった。そういう場は必要だ。

【C】ファシリテーターをおいて会議を実施

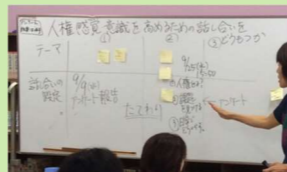
研究協議は取組の「良かった点」と「課題」、「改善策」を視覚化して整理する。



<協議参加者の声>
みんなが意見を出せたから、授業改善の手立ての発見につながっていった。

【A】プランを立てて確実に改善策を実施

協議で出た課題を整理し、改善策を「いつまで」「誰が」「何を」「どのように」実施するか確認する。



<管理職の声>
短い時間で、生き生きとたくさんの意見が平等に出され、考えもしないアイデアも出て驚いた。

調査研究協力校：永谷高等学校、金井高等学校、藤沢養護学校

このリーフレット内にある2次元コード先のリンク集は「神奈川県立総合教育センターホームページ」の「授業研究」「授業づくりに役立つ各種資料」「カリキュラム・マネジメントのページ」内の専用ページにあります。

本冊子のPDFデータやリンク先のワークシートなどをダウンロードできます!

カリキュラム・マネジメントを促進する

協議の工夫

学校がひとつになって生徒が輝く



生徒の資質・能力を伸ばそう



カリキュラム・マネジメントのポイント

- ・目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていく
- ・教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていく
(学習指導要領から抜粋)

総合教育センター
作成の冊子は
こちら



併せて「教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保する」

RPDCAサイクルを効果的に回す！

R 調査

学校の実態や生徒の現状と課題を把握
(学力調査、生徒による授業評価等)

P 計画

学校教育目標を基に、生徒に身に付けさせたい「資質・能力」を共有し、各教科の具体的な取組を計画

D 実施

すべての教科で実施

生徒が成長するのは
教師としての醍醐味！
成長するための
仕掛けを作ろう！

C 評価

研究授業では、「資質・能力」を身に付けさせる授業になっているかを教職員で確認、改善策等のアイデアを共有

A 改善

研究協議会で話し合った改善策を授業で実施

カリキュラム・マネジメント実現のチェックリスト

- 学校教育目標を基に、生徒に身に付けさせたい資質・能力について学校全体で共有している。
 - 生徒に身に付けさせたい資質・能力が組織的な授業改善のテーマになっている。
 - 研究協議会や教科会で話し合った授業の改善策が、その後の授業等や次年度に向けた取組につなげている。
- 〈参考〉
- よりよい教育課程を編成するために、人的・物的な資源を確保する計画がなされ、それらの資源を必要に応じて活用している。

※本県においては、学校の現状課題の把握を意味する“Research”を加えた「RPDCAサイクル」の確立を推進しています。

カリキュラム・マネジメントの実現に向けて

Plan 教職員で目標を共有して、教科ごとに具体的な取組を考えよう！

どんな生徒になってほしいか、
教科で何ができるか

学校教育目標や
めざす生徒像を
基に教職員が
取り組める具体的な
方策を計画する

「効果的・効率的な会議」について詳しく知りたい方はこちら。当センターのホームページからも閲覧、ダウンロードができます。



学校教育目標 ○自分の考えをもち、自信をもって行動する生徒の育成を図る。 ○生徒一人ひとりの進路を実現できるような、支援体制の充実を図る。 ○・・・ ○・・・	生徒の現状	・全体的に穏やか、何事にも真面目に取り組む。	②を踏まえた 教科における手立て ○○科 ・単元の始めに課題を選ばせ、単元の終わりに課題を解決するための
	学習	・実技科目に興味に向いている生徒が多い。 ・教命 生懸	
	地理的環境	・駅	
	家庭環境	・共 かな	
	行事(部活動)	5月 生徒 か限られている。 9月 体育祭 サッカー部が・・・	

【R 調査】

生徒を取り巻く
現状について
共有しよう

【P 計画】 (教科)

教科ごとの具体的な
手立てを検討しよう

【P 計画】 (学校全体)

身に付けさせたい
資質・能力を
決めよう

【D 実施】 授業

授業で行う取組が
有効かチェック！

Check 効果的な研究協議会で、取組を改善しよう！

【C 評価】 研究協議会

「資質・能力」を
身に付けさせる
授業の取組が
有効であったか
チェックする

効果的・効率的な協議を
行うためにファシリテーターをおこう！
詳しくはホームページへ

模造紙例

資質・能力の育成のための授業づくり(〇班)

	良かった点	課題	改善策
失敗を恐れず挑戦し続ける	○○・・・ 	○○・・・ 	
よりよく伝える	○・・・ 	○○・・・ 	
評価 生徒の姿から見た取組の展望			

教職員で
アイデアを
共有する
チャンス！

【A 改善】

「いつまで」「なにを」「どのように」を決め、その後の授業に生かそう

ポイント

「課題」を整理した後に「改善策」を挙げ教職員で共有しよう